

読書推進活動が進んでいます！



＜水沢南部保育園＞ ＜鑑島保育園＞ ＜愛宕幼稚園＞ ＜下条中学校＞ ＜馬場小学校＞

5月15日（土）に水沢南部保育園で「読書（家読）のすすめ」というテーマで保護者向けの講話をしました。「今は、自分に読書習慣がないとしても、今からお子さんと絵本から始めて読書習慣を身につけていってください。」と伝えました。

園での読み聞かせも進んでいます。5月18日（火）は、鑑島保育園で読み聞かせがありました。風邪でお休みのお子さんもいたようですが、ジッと耳を傾けている子どもたちの姿がとてもよかったです。ボランティアの方々も「いい雰囲気ですね」と喜んでいました。ほかにも、愛宕幼稚園、下条中学校でも読み聞かせをしていただきました。園児はもちろん、中学生も静かに耳を傾けていました。とてもいい時間でした。

「楽しい読書出前授業」も6月は6校から申込みがありました。活動は順調に進んでいます。

家読体験記をいただきました！

『りんごかもしれない』を読んで

最初はりんごが置いてあって、いろいろとりんごじゃないりんごの理由を考えていたけど、最後には、りんごを食べると、ふつうのりんごで、「食べるおいしい！！」という話の内容だった。りんごじゃない理由を考えている男の子の考えで、おもしろいと思ったのは、毎日水をあげると、大きな家になってしまうという考えがおもしろかったです。ふつうのりんごは、食べられるからりんごのかべを食べて「部屋の中を好きな形にできるのか」という考えがおもしろかったです。もう1つは、いろんなたくさんのきょうだいがいて、全員が名前や形も全くちがうことに気づいておもしろかったです。例えば、「わんご」だったら星のような形をしていて、「さんご」だったらふつうのさんごの形をしていておもしろかったです。この本を読んでほしいおススメの人は、りんごが好きな人や予想を立てるのが好きな人に読んでほしいです。

家読をすると、いろんな本にふれ合えたり、知らなかったことを知ったりすることができます。

（志賀怜奈 11歳）

怜奈さんは、昨年度、東小学校の上学年で一番たくさんの本を読みました。「いろんな本とふれ合い、知らなかったことを知って」いる怜奈さん、素晴らしいですね！

図書室整備について

本の廃棄の手伝いを希望している学校に夏休みに伺えるように調整しています。図書室のレイアウト変更については、申し訳ありませんが、来年度になるかもしれません。